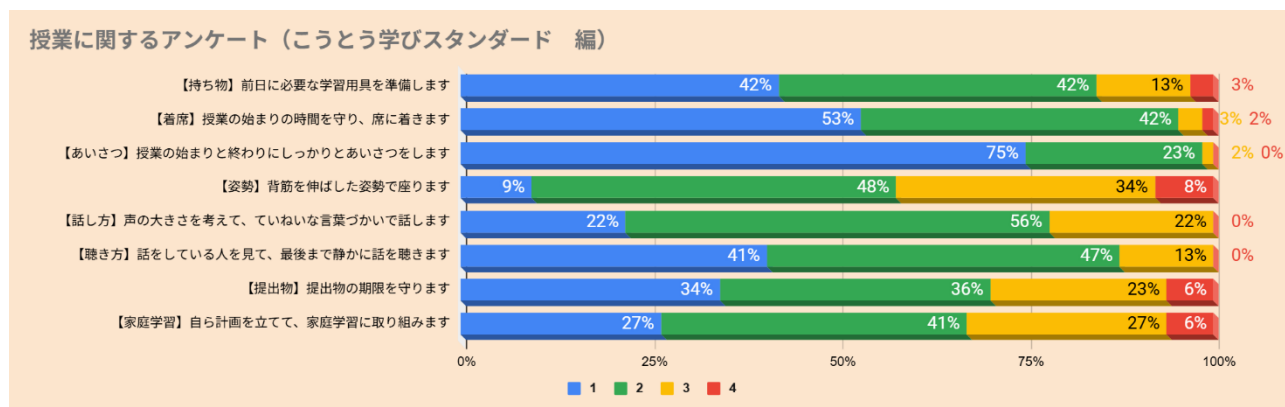


令和8年度 江東区立第二亀戸中学校 授業アンケート【前期】 結果と分析

■ 1：はい ■ 2：どちらかといえば当てはまる ■ 3：どちらかといえば当てはまらない ■ 4：いいえ

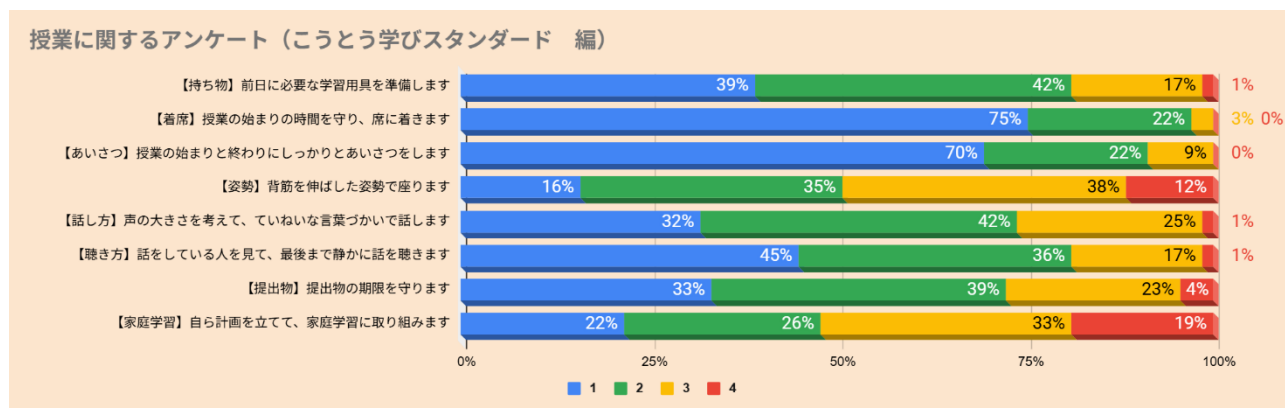
1 年生



授業前の着席やあいさつの仕方は身に付いているが、授業中の姿勢や言葉づかいに課題がみられる。授業中の発言や姿勢について授業の中で継続的に指導を行い、改善を目指す。

また、提出物の期限を守ることや家庭学習への取り組み姿勢についても課題がみられる。スモールステップで課題を提出させるなど、各教科で課題の出し方を工夫していくとともに、デイリーライフや定期考査前の学習計画表を通じて生徒を励まし、家庭学習への取り組みを促していくことで、改善を目指していく。

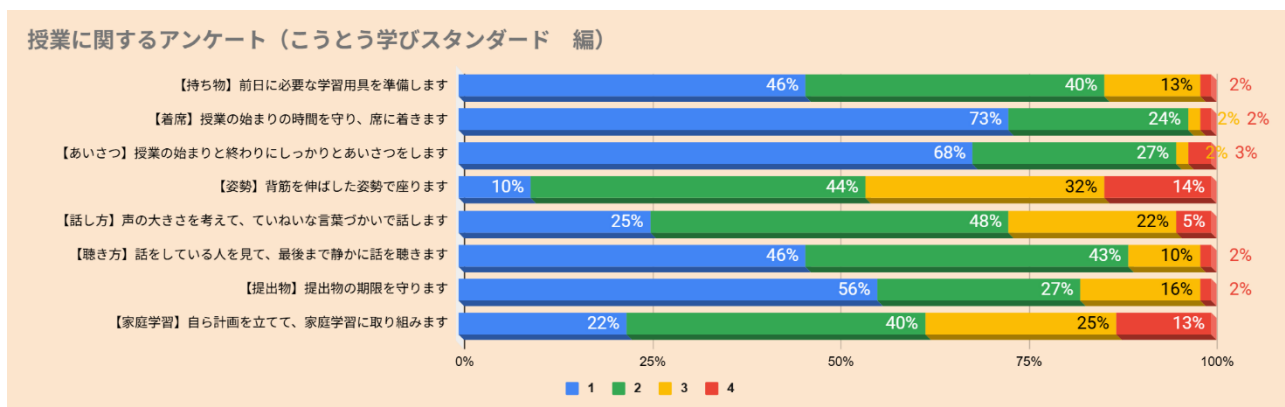
2 年生



ほとんどの項目で1年次と比較して改善傾向にある。特に授業前に着席することについては、できていると答えた生徒が1年次は64%だったことに比べ、2年次は75%と大きく改善した。中学校生活も2年目になり、学校生活における望ましい生活態度が身に付いてきている様子が見られる。

一方で提出物については期限を守ることができたと答えた生徒の割合が1年次に比べ10ポイント下がっており、各教科、学年で提出物に対する意識付けや声掛けをこれまで以上に丁寧に行い、改善を目指していく。

3年生



家庭学習についてについて肯定的な回答をする生徒の割合が2年次は56%だったのに対し、3年次は62%と改善傾向にある。提出物の期限を守ることについても肯定的な回答をする生徒の割合が増加している。進路決定に向け、学習についても前向きに取り組むようになってきた様子が見られる。

一方で、座る時の姿勢や、話すときの声の大きさや言葉遣いについて、2年次よりも肯定的な回答をする生徒の割合が低下している。義務教育を修了するにあたっての望ましい態度を授業や進路学習を通じて身に付けさせていく。